




# いっぱん質問



P.11

- ヘルメット購入費補助の考えは


田上 孝樹 議員



P.11

- 投票支援カードの導入の考えは


藤 伸一 議員



P.12

- 同和対策施設等の見直しは


中嶋 時夫 議員



P.12

- 嘉麻市の伝統芸能はどのくらいあるか


山本 真之 議員



P.13

- 関係人口の創出・拡大を主要な政策に


出水 貴之 議員



P.13

- ハラスメント防止策は


畠中 博文 議員



P.14

- 窓口の手話通訳者不在の対応は


豊田 一元 議員



P.14

- 維持管理不能の排水溝をどうする


田中 義幸 議員



P.15

- 消費期限等がある備蓄品の管理は


新井 聖次 議員



P.15

- 公共施設トイレの洋式化は

佐伯 憲子 議員



紙面の都合により、いっぱん質問の内容を680字以内でまとめています。

質問全体の内容については、会議録に掲載しています。会議録は、議会事務局、各支所、市内図書館および嘉麻市議会ホームページからご覧いただけます。

なお、一般質問はケーブルテレビのご協力により、生放送と録画放送を行っています。また、YouTubeによる生中継と録画配信も行っています。

スマートフォンやタブレット端末で、録画映像をご欄になりたい議員のQRコードを読み取ると、「嘉麻市議会」のYouTubeサイト内へアクセスできます。ぜひご視聴ください。



藤 伸一 議員



**問** 投票支援カードの導入の考えは

**答** 導入に向け、前向きに検討していく

**質** 過去3回の国政選挙での期日前投票の投票率は、  
平川総務課長 令和元年の参議院選20・13%、令和3年の衆議院選25・26%、令和4年の参議院選24・50%である。

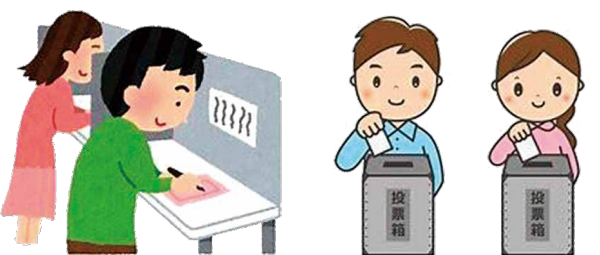
**質** 過去3回の国政選挙での全体投票に占める期日前投票の割合は、  
総務課長 令和元年の参議院選45・94%、令和3年の衆議院選46・87%、令和4年の参議院選49・81%である。

**質** 投票日当日の投票時間の設定の権限は、  
総務課長 市選挙管理委員会に権限がある。

**質** 投票日当日の投票時間の繰り上げを実施している県内の自治体は、  
総務課長 添田町、赤村、福智町が2時間繰り上げて午後6時まで、また、東峰村、みやこ町、築上町が1時間繰り上げて午後7時までとなっている。

**質** 投票日当日の投票時間の繰り上げの考えは、  
総務課長 近隣の1市1町の考え方を重視し、検討していく。

この実態を踏まえ、経費の削減、職員の方たちの負担軽減の観点から、投票日当日の2時間繰り上げの考えは、  
総務課長 近隣の1市1町の考え方を重視し、検討していく。



田上 孝樹 議員



**問** ヘルメット購入費補助の考えは

**答** その必要性を検討していく

**質** 道路交通法の改正により、令和5年4月1日から自転車の利用者全員にヘルメット着用が努力義務化された。自転車の死亡事故のうち最も多いのが、頭部へのダメージによる死因となっている。本市の自転車の関わる事故件数は、  
上村防災対策課長 事故件数は10件で、死亡0件、重傷4件、軽傷6件となっている。

**質** ヘルメット着用は努力義務であるため、本人の意思に委ねられるものの、事故の際に  
防災対策課長 約半数が小学生で、残りは20代からお年寄りである。事故の内容は、大半が出合い頭によるもの。

**質** 自転車ヘルメット着用率の現状は、  
防災対策課長 全体的な把握はできていないが、少しずつ普及しているのではないかと。

**質** ヘルメット着用は努力義務であるため、本人の意思に委ねられるものの、事故の際に  
防災対策課長 嘉麻市交通安全協会、嘉麻警察署、嘉麻市が連携して、5月11日と7月10日に、市内2か所で、自転車ヘルメット着用と交通ルール遵守を重点項目として、街頭活動を実施した。

**質** 法改正以降、自転車ヘルメット購入に補助金を出している自治体が増えてきている。ヘルメット着用の促進を図るため、ヘルメット購入補助事業の導入の考えは、  
防災対策課長 県内でも実施しているところがあると聞いている。

補助金導入の効果等を今後、調査・研究して、その必要性を検討していく。





山本 真之 議員



**問** 嘉麻市の伝統芸能はどのくらいあるか

**答** おおむね 40 件程度存在

**質** 伝統文化・伝統芸能を継承していくことは、かなりの努力と困難を伴うことと思うが、地域コミュニティに果たす役割も大きい。伝統芸能とまちづくりの関係性について見解は、末永生涯学習課長 伝

**生涯学習課長** 本年2月から嘉麻市文化財まちづくり推進団体認定制度を施行している。この制度は嘉麻市独自の、先進的な取り組みである。今後も地域の活性化やまちづくりに反映できるように、邁進していきたい。

**山田副市長** 市内の2団体が申請をしている、県の「地域伝統行事お助け隊派遣事業」を周知、紹介するなど支援を行っていききたい。今年

3月には益富城跡が県の指定を受けた。これからもこの貴重な文化財の保存・継承に取り組んでいきたい。



「伝えよう 学んでみよう 嘉麻かるた」

いてを質問。

中嶋 時夫 議員



**問** 同和対策施設等の見直しは

**答** 利用者等と協議を進めていく

**質** 新型コロナウイルスやウクライナ情勢の影響で、原油価格や物価が高騰し、市民生活はひっ迫している。特に、部落に住む年金で細々と暮らしている高齢者や、障がいのある人、ひとり親家庭などには、生死にかかわる深刻な問題である。部落の生活実態や健康実態の調査は喫緊の課題だ。

**質** 市に厳しい財政事情では、公共施設の見直しは待ったなしの問題だ。同和対策施設も老朽化や高齢化などで、維持管理が難しく財政支援も必要としている。一般対策の中で方向性を出すべきだ。

**質** 学校給食の無償化は全国的に広がり、「義務教育の無償」は憲法で保障されている。嘉麻市の子どもの生活実態や課題を考えれば、学校給食の無償化は子育て政策として最優先に取り組み課題だ。

**質** 若い世代の教職員は、部落問題を学ぶ機会がなく、実感が乏しいのではないか。



同和施設(農機具共同作業所)

学習の基礎編として、部落差別の現状や差別の起こる背景・起源を学んだ。





田中 義幸 議員



**問** 維持管理不能の排水溝をどうする

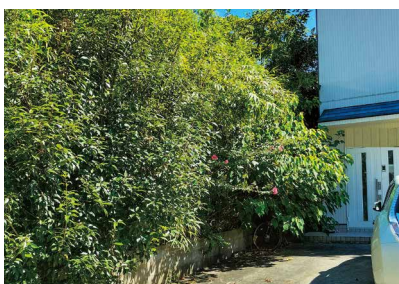
**答** 現場を確認して市がする

**質** 排水溝設置目的は、井桁**技監** 道路の排水を良好にし、道路路面崩落を防止するためだ。**質** 現在排水溝の維持管理はどうしている。**技監** 通常土木課が行うが、地元でしている所もある。**質** 排水溝の維持管理不能な中山間地では、崖の崩落、農地の陥没等が起きている。高齢化が進んでいる地域では、維持管理ができない、4～5年に一度くらい、

市でできないか。**技監** 現場を確認して、維持管理をしていく。**水路崩壊****質** 旧国道211号線の嘉麻7号橋と8号橋間にある沢の下流域で、水路崩壊が起きている。パイパスができて、水の流れが変わり災害が起きている可能性がある。また、植林した木も枯れている。調査をしてほしいと地権者は言っているが、県に要請できないか。

**技監** 調査要請は県にする。**市道の維持管理****質** 熊ヶ畑第1行政区内の市道が、馬の背状態になっている。車庫入れの時、車の底をこす。損害賠償請求事案だ。住民が、補修要望書を出しているが。**技監** 全体的に補修したい。行政区長と協議し、早めにする。**空き地・空き家管理****質** 稲築地区才田にある空き地の管理である

が、隣家まで竹木が覆い被さっている。今回民法の改正があったが、市はどうするのか。**高野環境課長** 民・民で解決してほしい。**質** その回答はおかしい。本来なら市の環境美化条例に基づき代行すべきだったが、法的根拠がないため、できなかつた。しかし、今回民法が改正になったので、最終的には、市が代執行すべきだ。**赤間市長** 市民が不快



「大迷惑」

に思わないよう、対応を指示する。財源は協議する。

豊田 一元 議員



**問** 窓口の手話通訳者不在の対応は

**答** 本年度は手話通訳職員を配置

**質** 本市の手話通訳を必要とする者等の人数は。**石坂福祉事務所長** ろう者は22人、音声・言語機能障がい者は28人だ。**質** 手話は障がい者にとって意思疎通を図るために大切なものだ。手話奉仕員が、多くの行事や病院などに同行して活躍しているが、手話通訳ボランティア育成の成果と課題は。**福祉事務所長** 嘉飯桂地区合同の手話奉仕員

養成講座に毎年5～8名が参加している。しかし、手話の会への入会等につながらず、すそ野が広がっていない。**質** 昨年度、障がい者福祉係では、手話通訳者が不在だった。タブレットでの通訳対応は市民サービス低下との苦情があった。常時複数市の職員を在籍させておくべきだ。日常的に手話で挨拶ができ、誰もがろう者の暮らしを理解し、意思や思い

を聞く風土づくりが必要だ。これらの研修の機会は。**福祉事務所長** 本年度は手話通訳職員を配置している。手話研修には、毎年8名程度が参加して意思疎通能力向上を目指している。**質** 社協との連携及び災害避難時の対応は。**福祉事務所長** 社協との連携は行っていない。日常生活用具として屋内信号装置を給付し、避難所では必要に応じ

て保健師が対応することになっている。**質** 手話が当たり前の社会を作るために手話言語条例の制定を。**赤間市長** 県や近隣市町も制定しているのので、調査研究し検討する。**温浴施設の営業課題****質** 市内5施設の入浴時間帯・入浴料金・障がい者減免が不揃いで整合性がない、どうする。**福祉事務所長** 合併前のままになっている。部署間協議を進めたい。



**質** なつきの湯の最終入館時間繰り上げによる光熱費削減、及び市外利用者割増料金による財政効果の検討は。**福祉事務所長** 検討して協議を進めたい。

佐伯 憲子 議員



**問** 公共施設トイレの洋式化は

**答** 年次計画をたてて取り組む

**質** 私が議員に立候補した理由の一つに、令和2年9月、台風接近に伴う避難所運営を担った際、女性トイレに洋式がなく高齢女性が立ち上がれなくなった事実があった。

**また、本年6月「高齢・認知症でもおひとりさまで生き抜く」をテーマにした講演会が開催された際に女性の参加者が多く、8つある女性トイレに洋式が2つしかなく長蛇の列ができた。**

**参加した市民より「洋式トイレの増設と和式トイレに手すりの設置を」との声が届いた。市内避難所となる社会教育、体育施設の現場を自分なりに調査したところ、10施設中、洋式トイレが2つあるのは3施設、和式トイレに手すりがあるのは3施設であった。市内社会教育施設のトイレの洋式の割合はどうなっているか。**

**指定避難所も含む図書館や美術館等17施設で、洋式トイレの割合は約44%だ。**

**質** 体育施設の洋式化の割合も尋ねる。

**長岡スポーツ推進課長** 指定避難所も含み市内の社会体育施設は8施設で割合は約44%だ。

**質** 利用している市民から要望や意見は届いていなかったのか。

**生涯学習課長** 要望も意見も届いていた。

**高齡化対応のみで**

**用トイレにもサニタリーボックスを設置すべきと考えるが。**

**山田副市長** 公共施設の利用形態等を調査し検討していく。

**橋梁の耐震補強**

**質** 橋梁の老朽化が目立つ中、事後保全から予防保全へ転換が必要。補修、補強の現状は。

**井桁技監** 5年ごとに調査・点検している。多くの橋梁が更新時期を迎え、財政的な課題が生じている。予防的に



洋式トイレ(写真はイメージ)

水難事故対策、旧山田庁舎、山田高校跡地の利活用の進捗状況についてを質問。

新井 聖次 議員



**問** 消費期限等がある備蓄品の管理は

**答** 廃棄せず有効活用を図っている

**質** 災害時に住民の生命や財産を守るために、日頃から災害に備えることが大切である。

**本市の防災備蓄品の内容は。**

**上村防災対策課長** 備蓄用飲料水、食料、乳児用粉ミルク、毛布、マット、簡易トイレ、簡易ベッド、パーティション、発電機、大型扇風機、カセットコンロ等を備蓄している。

**質** 管理、保管場所は。

**防災対策課長** 避難場所の公民館や学校に保管している。

**また、旧宮野小学校、今年から旧稲築西学童保育所にも保管し、さらに分散保管を追加検討している。**

**質** 消費期限等がある備蓄品の管理が、フードロスなどにつながっていないか。

**防災対策課長** 定期的の確認し、入替えた備蓄品は、廃棄することなく避難訓練や公民館事業などで使用し、有効

**活用を図っている。**

**質** 水道がストップした場合の簡易トイレは十分に備えているか。

**防災対策課長** 簡易トイレ50セットと凝固剤4千セットを備蓄している。また、災害協定を結んでいるリース会社に、優先設置を依頼している。

**質** 高齡化する中、男性の尿取りパット等の使用が増加している。また、トランスジェンダーへの配慮から、男性

**用トイレにもサニタリーボックスを設置すべきと考えるが。**

**山田副市長** 公共施設の利用形態等を調査し検討していく。

**橋梁の耐震補強**

**質** 橋梁の老朽化が目立つ中、事後保全から予防保全へ転換が必要。補修、補強の現状は。

**井桁技監** 5年ごとに調査・点検している。多くの橋梁が更新時期を迎え、財政的な課題が生じている。予防的に



防災備蓄品(写真はイメージ)

小規模な補修、補強を行い延命していく手法へ政策を転換し取り組んでいる。